

# 日本共産党

## 中央区議団ニュース

2015年3月

発行/日本共産党中央区議会議員団  
中央区築地1-1-1中央区議院内

TEL3546-5563 FAX3546-9570

区議団メールアドレス

kugidan\_chuo21nowar@jcpchuo-kugidan.jp

ホームページ

http://www.jcpchuo-kugidan.jp/

ご意見ご要望をお寄せください。

### 紙面から

- 「5つの提案」 ②～③
- 区立駐輪場有料化は中止を
- 「晴海選手村」に区民要望を
- 豊洲新市場は問題山積
- 「区民アンケート」の結果 ④
- 予算要望書提出

「5つの提案」の詳細は、次ページをご覧ください

# 安倍自公政権の悪政の「防波堤」となり 暮らしと福祉を守る中央区政実現へ



築地場外市場で訴える区議団。左から志村、おぐり、奥村、加藤区議

躍進した国会議員団、都議団と連携し全力!

日本共産党は、昨年末の総選挙で21議席を獲得しました。衆議院でも議案提案権を持つことができ、さっそく「政党助成金廃止法案」を提出しています。

安倍政権がすすめる消費税10%や

貧困と格差を広げるアベノミクス、原発再稼働、「海外で戦争する国」づくり…こうした「暴走」に対する危惧や批判の声が、全国で606万票、中央区では7500票として日本共産党に託されました。

日本共産党中央区議団は、党国會議員団(32名)と都議会第3党の党都議団(17名)と連携し、安倍政権の「暴走政治」をストップさせ、国民の声が生きる新しい政治をつくるために全力をつくします。

### 求められる区政の転換

矢田区長は、安倍政権の「暴走政治」に対し、消費税増税も「集団的自衛権行使容認」の閣議決定もアベノミクスも容認する立場です。区議会では、日本共産党以外の会派も安倍政権の「暴走政治」にたいして「ノー」の声を上げず、区長が提案する区民負担増や大企業奉仕のまちづくりにことごとく賛成してきました。日本共産党区議団は、「区民が主人公」となる区政へと転換させるため、区民を守る「5つの提案」の実現をめざします。

## 憲法が日本を守る 憲法が暮らしを守る 中央区から平和の発信を

安倍首相は、過激組織「イスラム国」の卑劣な蛮行に乗じて、「邦人救出」のための自衛隊派兵や空爆の後方支援を主張し、「海外で戦争できる国づくり」に突き進もうとしています。

戦後日本の平和は、憲法9条によって守られてきました。世界に誇る憲法9条を破壊するのか、日本の進路を照らす羅針盤として生かしていくのかが問われています。

大空襲の大きな被害を受けた中央区から「憲法改悪反対」「憲法守れ」の声を発信しましょう。

**第九条** 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

安倍政権は、「社会保障のため」といって消費税増税を強行しながら、負担増と給付減を押しつけています。このような社会保障の切り捨てに対し、区長は批判の声をあげません。

区は憲法25条に基づき、国に対し社会保障の拡充を求めるとともに、悪政から区民の生命と健康を守る「防波堤」の役割を果たし、地方自治体の責務である住民の福祉の増進のために力を尽くすべきです。日本共産党区議団は、暮らしを支え、人間の尊厳を守る社会保障の確立をめざします。

**第二十五条** すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

2. 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

## 日本共産党区議団は

調査し



党区議団で放射線測定



国会議員団と築地市場を調査

行動します



石巻市で清掃ボランティア



築地市場「移転」反対パレード



おぐり智恵子



加藤ひろし

提案し



奥村あきこ



志村たかよし

## 巨大開発に2年間で160億円を投入

### 市街地再開発事業への税金投入(予算額)

- 2014年度 69億7000万円
- 2015年度 90億2800万円

### 再開発事業数

- ・進行中…25事業
- ・準備中…7事業

中央区は、「巨大開発優先のまちづくり」に力と税金を注いできました。その結果、住環境や景観は悪化し、人口急増に施設やインフラ整備が追いつかず、住みづらい町になっています。

14・15年度の2年間で超高層ビル中心の再開発事業に160億円を投入し、今後も32事業もの巨大開発を計画しています。

自治体は、区民福祉の増進をはかり、格差や貧困をなくす責務があります。

区民には負担増を押しつけながら、「東京一極集中」「巨大開発優先のまちづくり」を続けさせて良いのでしょうか。

# 日本共産党「五つの提案」

## 「区民が主人公」となる新しい中央区をいっしょにつくりましょう!

### 区民アンケートにお寄せいただいた声

**超高層ビルはやめて欲しい。日照をさえぎり空が見えないし災害時に危険!!**

賀詞交歓会の無駄を何とかしてください。2時からですから軽いつまみで良いと思います。

一人暮らしの老人は動けなくなったらどうすればよいのでしょうか。

このせまい中央区には広場、公園、避難所など増やすべき。息がつまりそうです。

孫が保育園に入園できず、娘が働くことが出来ず、生活がひっ迫している

「ぜいたく品」には高く、必需品は無税、そのくらいのことをして、と私は言いたい。

### 財源

税金の無駄遣いをなくし、大企業に充分の負担を求め財源を生み出します

- NTT、東京電力の道路占用料の適正化
- 賀詞交歓会などイベントの簡素化
- 区長・議長の交際費半減
- 議員の費用弁償廃止
- 区の基金400億円の積極的な活用

区は、「受益者負担の適正化」の名で区民負担増や区民サービス削減をすすめています。やるべきことは税金の使い方を見直しやNTTや東京電力の道路占用料の適正化など大企業に充分の負担を求めることです。

区は、基金(区の貯金)の一部を区民施策に活用すべきです。また、区施設の整備・改修計画は華美なものにならないよう、「節税」の観点からも再検討することが求められます。

**実現しました**

- 議員の費用弁償(交通費)廃止を一貫して求めてきましたが、昨年度からやっと半額に。次は廃止をめざします
- 議員の政務活動(調査)費の領収書添付を義務づけ透明性をたかめました
- 議長交際費を25%削減
- 規制緩和の大サービスを受ける開発で巨大な利益を上げる大企業に適正な負担をさせるよう繰り返し要求し「開発協力金制度」が実現

### まちづくり

巨大開発優先から人にやさしく災害に強いまちづくりへ転換をはかります

- 住宅の耐震補強助成制度の拡充
- 公的住宅増設、民間家賃補助制度創設
- 「住宅リフォーム助成制度」創設
- 「江戸バス」ルート改善
- 自転車専用レーンの整備

小伝馬町、八丁堀、佃：中央区には江戸の昔からの地名や文化歴史が刻まれてきましたが、「大規模開発優先のまちづくり」によって、街の個性が消えた都市に変わっています。

東京一極集中を加速させる高層ビルが林立するまちづくりをこれからも続けていくのかどうか問われています。「情報公開」を徹底した住民参加のまち

**実現しました**

- 「中央区は歩くまち」と言う区に対し、区内循環バスをくり返し提案し、09年12月から江戸バスを運行開始
- 豊海運動公園は日本共産党が紹介議員になった請願から始まり7年かかって実現
- 全ての建築物の耐震調査を実施し、一部屋だけの耐震補強助成・避難所への簡易ベッド配備

づくりとともに、大企業応援のまちづくりから人にやさしく災害に強いまちづくりへの転換が求められています。

### 中小企業

中小零細企業や商店への支援強化で地域の活性化をはかります

- 「ハッピー買物券」の増額発行
- 「中央区公契約条例」の制定
- 「小規模企業基本法」をいかした施策
- 非正規から正社員への転換を応援
- 全ての中小企業・商店への聞き取り調査

中小零細企業や商店は、地域での雇用創出とともに地域経済や地域コミュニティを支える役割を發揮しているにもかかわらず、中央区の中小企業対策は消極的です。

「公契約条例」の制定や「小規模企業振興基本法」を活かした中小企業を守る施策の充実が必要で、「官製ワーキングプア」をな

**実現しました**

- 区内で確実に消費されるプレミアムアット買物券(ハッピー買物券)の発行を提案し、2000年に実現
- 区の仕事の発注制度の改善や入札制度の透明化も要求し、少しずつ改善
- 94年11月に「中小企業振興条例」を提案し、95年6月に「中央区中小企業基本条例」が成立

くし、非正規から正社員への転換を応援する施策を進めるなど、雇用の改善に取り組むべきです。

### 子育て

子どもたちが健やかに成長できる環境づくりをすすめます

- 18歳までの医療費無料化
- 園庭付区立保育園の増設
- 芝生の公園や緑地の拡充
- 全学年での35人学級の実現
- 教育にかかる保護者負担の軽減

人口の急増で、保育所などの施設整備が追いついていません。子どもたちの健やかな成長のため、区が責任を持って区立保育所を増設すべきです。

緑豊かな公園整備、安全対策、放射能対策など環境整備も不可欠です。

豊かな人間形成や確かな学力を育む教育環境の充実も

**実現しました**

- 子ども医療費無料化をくり返しとりあげ、93年に3歳未満の無料化が実現、07年に中学3年生までの無料化が実現
- 「待機児童解消は、認可保育所で」と粘り強く要求するなかで区は「認可保育所中心に」との約束
- 区内小学校施設の実態調査を行い体育館の空調設備などが実現
- 放射線測定器の貸出が実現

求められます。

### 暮らし

区民負担を軽減し、暮らしと福祉、健康を守る施策を充実させます

- 75歳以上の医療費無料化
- 消費税10%実施中止を国に要求
- 国保・介護保険料の値上げ中止
- おとしより介護応援手当の増額
- 特養ホームの増設

生活苦に追い打ちをかける消費税10%の実施は許しません。毎年上がる国民健康保険や介護保険などの保険料も、支払い能力を超える重い負担で軽減策が必要で、高齢者施設整備も遅れており、グルー

**実現しました**

- 03年3月に都が廃止した高齢者福祉手当に代わる区独自の「おとしより介護応援手当」をくり返し要求し実現
- 肺炎球菌ワクチン費用助成制度を提案し実現
- 「敬老祝い金」を商品に代えて共通買物券を提案し実現

プホームの整備率は23区中20位という状況です。特養ホームの増設や在宅サービスの充実が求められます。



笠井亮衆院議員、吉良よし子参院議員や都議団とともに農水省と交渉する区議団=2014年5月30日

**「豊洲新市場は問題山積 移転反対」のたたかいがすすみます**

東京都は築地市場を廃止し、16年11月に豊洲新市場を開場する計画を強引に進めています。

しかし、地下水のモニタリング調査で地下水汚染が明らかになるなど、土壌汚染対策の欠陥や高騰する汚染対策費と整備費、非効率

中央卸売市場の開設には農水省の認可が必要ですが、豊洲新市場については、安全性の科学的証明と市場関係者や消費者の理解が認可の前提条件となっています。

多くの都民・区民、消費者とともに、地元中央区が「安全性が疑わしい」「断固反対」「築地市場現在地再整備を」の声を上げれば国は認可できず、計画を断念させることも可能です。2兆円もの地域経済波及効果のある築地市場を守るために、あらゆる可能性を追求していきましょう!



都発表の大会終了後の住宅棟モデルプラン

**「晴海選手村」に区民要望を反映させます**

昨年12月、東京都は、五輪選手村の大会終了後の住宅棟モデルプラン(左図)を発表しました。

板状の建物が選手村となる14階建ての住宅棟です。城壁のように敷地や学校予定地を取り囲んでいます。海風が遮られ、ヒートアイランド現象を深刻化させることでしよう。建物配置の再検討が必要です。

選手村は、民間事業者が整備し、大会終了後、分譲・賃貸マンションにする予定です。

この「晴海地区将来ビジョン」では、選手村の住宅の整備について「分譲住宅に加え、賃貸住宅、学生寮、社宅、宿泊施設、サービス付高齢者住宅など多様な住まいを導入」することを求めています。

日本共産党区議団は、党都議団と連携し、区民要望の実現めざしがんばります。

2棟の超高層タワー型住宅は、大会が終わってからの建築するとしています。

これには、晴海まちづくり協議会でも「当初の計画にはなかった」「晴海のど真ん中に超高層タワーマンションを2棟も建てるなんて」という批判がましい。公的住宅が計画されていないのも問題です。

また、練習用トラックは「仮設」の計画ですが、大会終了後は、区民が利用できる恒久施設として整備すべきです。

**区立駐輪場の有料化は中止を**

中央区は、施設整備に必要な財源を確保するためとして80におよぶ事業について「受益者負担の適正化」にたつた検討をおこなっています。これまで、保育料の値上げや「区立駐輪場の有料化と放置自転車撤去・保管料の徴収」の方針を出しました。

区は、「中央区自転車利用のあり方」のなかで、駐輪場の有料化にあたっては「利用者のみならず広く区民に周知し、合意を図っていく」としています。

しかし、いまだに、駐輪場の整備が不十分であり、「有料化」について事前に利用者の声を聞くアンケートなどを行っていないにもかかわらず、議会に提案し日本共産党以外の会派の賛成で実施しようというのは区の方針に反するものです。区は、4月からの有料化を中止するとともに、区民や利用者の意見をいかした自転車の総合的施策を進めるべきです。

駐輪場利用料金 (契約は1年ごと)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	12ヵ月	
区民	一般	1,500円	4,000円	8,000円	16,000円
	学生	1,000円	2,500円	5,000円	10,000円
区民以外	2,000円	5,500円	11,000円	22,000円	

\*放置自転車の撤去・保管手数料は3,000円。

# 区民の願いがあふれる「予算要望書」を提出



区長(右)に申し入れる区議団

「予算要望書」は、党区議団実施の「区民アンケート」や議員活動、相談活動などでお寄せいただいた意見・要望とともに「区民が主人公」の立場による区政の転換を毎年提案しているもので、今回は510項目になりました。

2014年9月26日、日本共産党区議団は、区長にたいし「2015年度中央区予算要望書」を提出し、意見交換しました。

## 毎年「予算修正案」を提案

日本共産党区議団は、区民の切実な要望を実現するために、区長提出の予算案に対して、毎年、修正の提案を行っています。

14年度予算修正案では、新たな財源や税金のムダづかいの見直しで財源を確保して、区民施策を充実させる提案をしました。

### 《新たな財源》

- NTTや東電などの道路占用料の適正化で約2億3千万円の増収

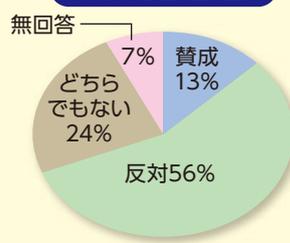
### 《施策の充実》

- 縮小された敬老買物券や出産支援タクシー利用券の贈呈額をもとの額に戻す (約1億2000万円)
- 教科活動費の補助や学校給食食材費の消費税増税分の補助などを増やし、教育費の保護者負担を軽減 (約6000万円) ほか共通買物券発行増額などに活用

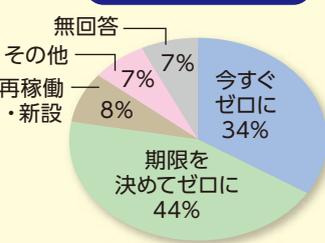
# 日本共産党区議団実施「区民アンケート」の結果

日本共産党区議団は、毎年区内全世帯を対象に「区民アンケート」を配布し、ご意見・ご要望を寄せていただいております。2014年の「区民アンケート」の集計結果(抜粋)をお知らせします。

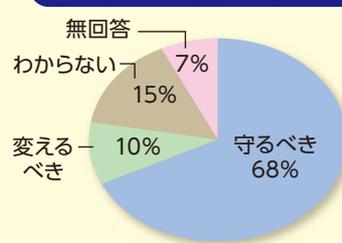
### 消費税増税計画



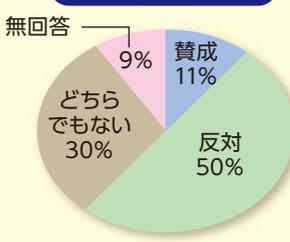
### 原発について



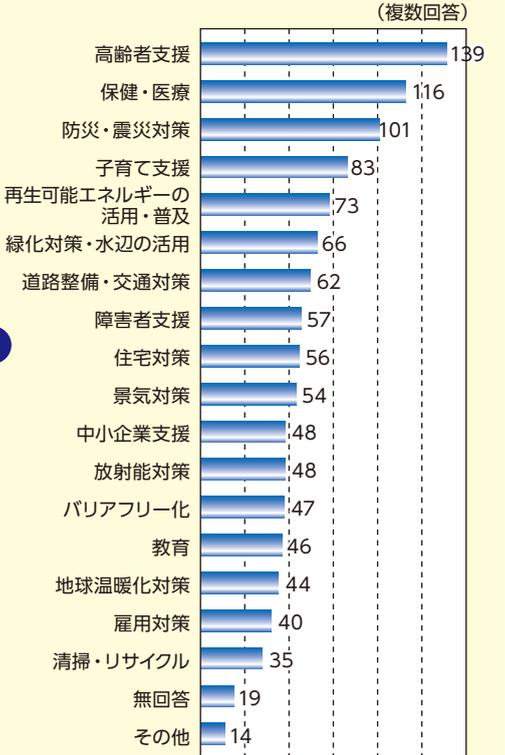
### 憲法9条「戦争の放棄」について



### 築地市場移転



### 中央区にもっと力を入れてもらいたい施策は



今年も「区民アンケート」を実施します。みなさんのご協力をお願い致します。

## 志村たかよし



1953年江戸川区生まれ。東京工業大学附属工高電気通信科卒。築地市場青果仲卸会社に勤務。91年より日本共産党中央地区委員会に勤務、地区委員長など歴任。2003年初当選、3期目。現在、党区議団幹事長。

## おぐり智恵子



1955年生まれ。日本橋浜町在住。日本女子大学家政学部卒。鉄鋼会社勤務を経て、1991年初当選。現在6期目。区議会区民文教委員会委員、地域活性化対策特別委員会委員長。家族は夫・一女。趣味：写真、三線



区議会に送り出しているただき6期24年。中央区は人口が増え、保育園が足りない、教室が不足する、十思にできた特養ホームへの入所倍率が6倍になるなど、課題が山積んでいます。区民に一番身近な自治体である中央区が、安倍政権の暴走政治から区民の暮らしや福祉を守る役割を果たすよう、これからは積極的に提案し、区民要求実現のため力を尽くします。

## 加藤ひろし



1950年生まれ。専修大学経済学Ⅱ部卒。築地場外市場、洋書店、ビル管理会社勤務を経て2011年区議会議員初当選。マンション自治会会長、晴海地区まちづくり協議会委員など歴任。現在、マンション管理組合理事。区議会福祉保健委員会委員、防災等安全対策特別委員会委員、都市整備公社評議員委員。家族は妻、2男1女。趣味：登山、読書。

## 奥村あきこ



1972年北区生まれ。日本外国語専門学校卒。客船乗組員、海外旅行情報誌の制作業務を経て、2011年初当選。現在、環境建設委員会委員、少子高齢化対策特別委員会副委員長。家族は夫、双子の娘。趣味は旅行、サルサダンス。

なんでもお気軽にご相談ください。

## 無料生活法律相談

毎月第1・3火曜日 午後3時より

区議会控室 3546-5563

マンションなんでも相談会 隔月で実施しています。

予約が必要です。事前にご連絡ください。

区議会に送り出しているただき4年が経ちました。今、勝どきは、環状2号線や大規模な再開発工事が行われ、さらに大規模再開発が計画されています。晴海ではオリンピック選手村建設計画と住宅の建設、築地でも東京都の強引な市場の移転計画等、大規模工事が目白押しです。私は、大規模開発優先のまちづくりではなく「住民こそ主人公」の姿勢をたもち、住み続けられるまちづくりをめざし、がんばります。